

「オフィスで流すBGMチャンネルが欲しい」…そういうご意見を社内外から多数いただき、2010年1月、新チャンネルを開発することになりました。しかし、音楽は個人によりとても好みが変わるもの。男女問わず幅広い年代のワーカーが集まるオフィスに流すBGMはいったいどのようなジャンルの音楽がふさわしいのか…。また、そもそもオフィスでBGMは本当に受け入れられるのか…。「オフィスBGM」というチャンネルを立ち上げるからには、まずそこから考える必要がありました。そこで、オフィスの音環境を研究するコクヨエンジニアリング&テクノロジー㈱のサポートを受け、実際の執務にあたる部署(16名:男12、女4、年齢25~61才)にさまざまなBGMを流し、印象アンケートや作業効率テストを行いました。

◆BGM放送実施調査

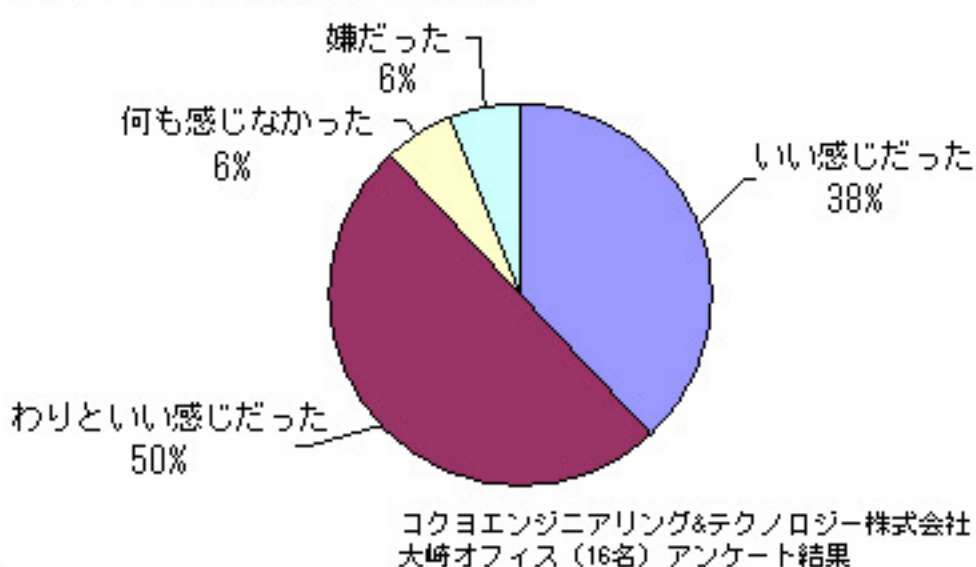
①オフィスにおけるBGMの必要性調査

これまでBGMを流していなかった職場にBGMを導入することに対してワーカーはどう感じたのかをヒアリングしました。導入前は「職場に音楽などいらない」、「気が散るかも…」とどちらかというマイナス・イメージが強かったのが、BGM放送実施後のアンケート及びインタビューでは「音があると仕事がしやすい」、「朝来た時にBGMが流れていると気持ちよかった」など好意的な意見が多く見られました。

②音楽ジャンル調査

オフィスに有効な音楽ジャンルと時間帯などの方向性を探るため、波の音、小鳥のさえずり、イージーリスニング、モーツァルト(クラシック)、ジャズ、J-POP…などさまざまなBGMを流し、印象をヒアリングしたところ、下記のような意見が出ました。

◎オフィスでのBGMはどうか？



1. 波の音

「気にならないけれど、工事現場のような気がする」、「違和感があった」、「ノイズっぽい」

2. モーツァルト

「かなりいい感じを受けた」、「メロディに耳を取られてしまう」、「朝はいいと思う」

3. ジャズ

「残業時間はいい」、「好きじゃない」、「最高！のれます」、「音楽を聴いてしまう」

4. イージーリスニング

「気にならない」、「やさしい感じでいい」、「知っている曲のカヴァーは聴いてしまう」

5. ヒーリング

「楽しくなりません」、「わりと気になりにくい印象」

6. オルゴール

「音楽が知っている曲だとメロディを聴いてしまう」、「知っている曲は効率が落ちる」、「寂しい感じ」

7. 小鳥のさえずり

「心が休まる感じがする」、「特に気にならない」、「夜聞くと徹夜明けのイメージでイラッとしました」

8. 洋楽

「オフィスじゃない感じがする」、「歌詞を聴いてしまう」、「集中できない」

9. J-POP

「歌詞を聴いてしまう」、「ちゃらちゃらしている感じがする」、「あきる！」、「集中できない」

こうした意見を受け、洋楽やJ-POPのようにヴォーカルが入っている楽曲は歌詞に耳がいつてしまうのでオフィスにはふさわしくない。ジャズなど好き嫌いが分かれる音楽ジャンルは受け入れられない人も多くて不向き。インストゥルメンタルでもメロディをよく知っている有名曲のカバー楽曲はつい耳がいき集中力が削がれるという意見が多かったため、これもふさわしくない。それに比べて、イージーリスニングやヒーリングなどのメロディが耳につきにくい環境音楽が受け入れられやすいことがわかりました。

また、一般に「誰にも愛される」といわれる自然音から“小鳥のさえずり”と“波の音”も実験し、“小鳥のさえずり”は好印象でしたが、小鳥の鳴かない夜には不向きだという声が多数ありました。

そこで、当チャンネルでは環境音楽を採用し、午前中には“小鳥のさえずり”も取り入れることに。また昼間はリズムのある楽曲を入れるなど、タイムテーブル放送でさりげなく時間の経過も意識させます。

…「チャンネル開発ストーリー」第1回は、開発の最初の一歩をご紹介します。

第2回は「オフィスにおけるBGMのマスク効果検証」をテーマに4月後半、第3回は「BGM利用時の業務効率検証」をテーマに5月初旬アップ予定です。(タイトルや更新時期は変更される場合もございますので予めご了承ください)